



障がい者福祉への理解のため

牛久市障害者連合会より要望書提出

9月21日、牛久市障害者連合会より牛久市へ障がい者福祉に関する理解や問題解決のための要望書が提出されました。要望書には障がい者が生活するための相談支援機関の強化や雇用の場の確保、福祉サービスの充実などが盛り込まれています。牛久市障害者連合会の御代川栄子会長は「障がいがあっても活動していける社会になってほしい。障がい福祉への理解がもっと深まることを望みます」と話しました。



開校に向け、工事が始まる

ひたち野うしく中学校、起工式

9月25日、ひたち野うしく中学校の起工式が行われました。当日は工事関係者をはじめ根本市長などが参加し、工事の安全を祈願しました。今後は平成32年度開校に向けて工事が始まります。



▲ひたち野うしく中学校完成予想図



寄付 温かい善意ありがとうございます

●日本ボーイスカウトから寄付

日本ボーイスカウト牛久第1団・第4団が9月27日に市役所を訪れ、日本赤十字社牛久地区に対し50,489円の寄付をいただきました。これは9月16日に牛久駅、ひたち野うしく駅で実施した募金活動で集まったもので、北海道胆振東部地震の義援金として活用されます。子どもたちからは「困っている人たちのために役立ててほしい」と話があり、根本市長も「被災者へ届けます」と答えました。



●岡田地区スポーツ交流会ゴルフ大会のチャリティー募金を寄付

9月に行われた岡田地区スポーツ交流会つるなが（鶴長ふみまさ文正会長）主催のゴルフ大会は、今回で23回目を数え、153人が参加し、盛大な大会になりました。参加者は日ごろの練習成果を発揮し、健康増進や交流に努めました。大会終了後には、チャリティー募金を行い、集まった寄付金17,927円は、会長から牛久市社会福祉協議会へ寄付されました。当交流会では、地区住民の生涯健康と親睦を図るため、さまざまな事業を行っています。10月には市民運動会を開催し、11月にはバスハイクを実施する予定です。皆様のご参加をお待ちしています。





牛久の味をいただきます

「牛久の日」給食

10月16日、学校給食「牛久の日」が市内の公立小中学校、公立幼稚園・保育園・社協保育園で行われました。この日、下根中学校では牛久産りんごをはじめ、地元の野菜たっぷりのサラダや味噌汁、鶏肉の塩麴焼きなどが並びました。子どもたちは「具だくさんの味噌汁が特に好きです。サツマイモがホクホクして、味が染みていて美味しい」「りんごがシュワシュワして甘い」などと大満足の様子でした。



エコフェスタ

第11回うしくみらいエコフェスタ

10月14日、牛久運動公園で「第11回うしくみらいエコフェスタ」が開催されました。当日は約8,500人が来場。会場内には「牛乳パックでの紙作り」「アクリル毛糸でのたわし作り」などの体験ブースや、市内保育園・幼稚園児、小中高生による、それぞれ「だいすきなうしくのしぜん」「10年先の君たちへ みらいへ紡ぐ第一歩」がテーマの絵画が飾られました。また、牛久産の食材を使用した飲食ブースも並び、賑わいをみせました。多くの来場者がエコに触れた一日となりました。



▲牛久一中生徒による「牛乳パックで紙を作ろう!」



おくのから「ユネスコスクール」

「おくのキャンパス」公立小中学校「県内初」認定

この度、奥野小学校と牛久第二中学校では、ユネスコ憲章に示された理念の実現を目指す学校として「ユネスコスクール」に認定されました。これは、県内の市町村立小中学校で初めての認定になります。これまでも、両校では、オーストラリアの学校とスカイプで交流するなどの国際理解教育や地域を生かした環境教育に力を入れてきました。今後、このグローバルなネットワークを活用して、世界中の学校と情報や体験を分かち合う教育活動を展開していく予定です。



▲牛久二中の高橋校長(写真左)、奥野小の青木校長(写真右)



コンサートの舞台裏を見学

中央生涯学習センター文化ホール バックステージツアー

9月29日、ホールの舞台裏をのぞくバックステージツアーが牛久市とうしく音楽家協会の主催で開催されました。今回のイベントでは小・中学生と保護者の方たちが、翌日に開催される「2018MUSEコンサート」の舞台裏をまわるツアーに参加。ツアーの最後にはオーケストラのリハーサル鑑賞、指揮者体験もあり盛りだくさんの内容になりました。参加した子どもたちから「オーケストラの音がきれいだった」「コンサートはたくさんの人が関わってつくられることがわかった」など、さまざまな声が寄せられました。





牛久の文化人たちの息吹を感じる

「特別展 郷土牛久の先人たち」開催中

10月20日から「特別展 郷土牛久の先人たちー牛久沼の畔で華開いた芸術文化」がオエノンミュージアム(牛久シャトー内)とかわの里ギャラリーで開催しています。当展覧会では牛久藩主山口家、日本画家の小川芋銭、農民文学者の犬田卯・作家の住井すゑ夫妻、日本画家の鈴木草牛を紹介しています。市指定文化財を含む全25点の作品、資料を展示しています。会期は11月25日まで。ご来場をお待ちしています。



おいしい、秋の味覚みつけたよ

公立幼稚園でおいもほり、焼きいも

10月上旬、各公立幼稚園でいもほりが行われました。いもは、子どもたちが園庭や畑で苗から育てたもので、大きないもにも歓声があがっていました。

19日には第二幼稚園で焼きいも会を実施。準備から手伝った子どもたちは、たき火から取り出した出来立ての焼きいもを持つと、「熱い熱い」と言いながらも大喜び。この日は園児の家族も参加し、子どもたちが作ったほくほくの焼きいもをみんなでおぼっていました(※関連写真を表紙に掲載)。



スポーツの秋！市内各地で体育祭を開催

市内3地区で市民体育祭開催

10月7日、牛久・岡田・奥野の各地区で毎年恒例の市民体育祭が開催されました。当日は天候にも恵まれ多くの市民が参加、各種競技において熱い戦いを繰り広げました。各地区で綱引きやボールを後ろへ送る順送球、地区独自のオリジナル競技が開催され、子どもから大人まで、すがすがしい汗を流し、スポーツを通じて交流を深めた一日となりました。



▲開会式の様子



▲大きなゲートボール



▲ボールコントロールリレー



プロのスタントマンが交通安全教室開催

牛久三中で交通安全教室

9月26日にプロのスタントマンによるスケアード・ストレート交通安全教室が牛久第三中学校で実施されました。当日は同中学校の生徒、牛久小学校と牛久第二小学校の高学年の児童が参加し、スタントマンが再現する交通事故を見て、事故の恐ろしさや交通ルールを学びました。衝突した車に同乗した児童からは「怖かった。すごい音がした」と驚きの声があげられ、^{おおつめい}大津芽依さん(牛久三中3年)は「人間がはねられたところが怖かった。登下校で自転車に乗るときなどには交通事故に遭わないように気を付けようと思う」と話しました。



柔道で高校生が全国大会へ

牛久高校柔道部 女子48kg級で全国3位

牛久高等学校の荒川朋花さん(高3・写真右)が「平成30年度全国高等学校総合体育大会」柔道女子48kgに出場。見事、3位の成績を収めました。その報告のため、10月2日、根本市長を表敬訪問しました。「練習を毎日がんばります。世界に挑戦できるようになりたい」と荒川さんは話し、根本市長も握手をすると「力強い手。今後に期待します」と激励しました。また、荒川さんは「全日本柔道体重別選手権大会」に出場し、2位の成績を収め、全日本の強化選手に選ばれています。



中学生が各種大会で活躍!

関東大会等出場生徒、表敬訪問

今夏、関東大会以上の大会に出場した牛久第一中学校、牛久第三中学校、下根中学校の生徒総勢33人が大会結果を報告するため、9月21日に市役所を訪れました。生徒たちは部活動ごとに出場した大会と成績を根本市長、染谷教育長に報告しました。最後に根本市長は「スポーツや勉強ができる環境に自分がいることを周りの人に感謝すること。皆さんには秘められた力があります。いろんなことに挑戦してほしい」と激励しました。





4コマ漫画で茨城の魅力を発信中!

牛久市出身女性漫画家

茨城ご当地4コマ漫画「茨城ってどこにあるんですか?」が月刊誌まんがタイム(芳文社)で好評を得ています。『「いばらぎ」って言われてしまう」、「茨城人は茨城の話題に敏感」など、くすっと笑える内容となっています。作者の真枝アキさんは牛久市出身。10月5日、牛久市を訪れ、「漫画を見て茨城や牛久に行きたくなったという人を増やしたい。自然が多く面白いものたくさんある茨城をこれからもいっぱい知ってほしい」と今後の意気込みを語ってくれました。



▲牛久市のためにとってもかわいい絵を描いてくれました!

もっと詳しく

牛久市公式PRサイト「らしく、うしく。」に掲載
<http://www.city.ushiku.lg.jp/page/page007292.html>



無病息災を願い、数珠を回す

桂町、金剛院で「団子念仏」

9月19日、桂町の金剛院で「団子念仏」が行われました。団子念仏とは彼岸入りの前日に実施される同地区の行事で、長さ約33メートルほどの、長くて大きな数珠を回しながら念仏を唱えます。当日は地元の方や奥野小学校の児童など約80人が参加。参加者は輪になって、大声で南無阿弥陀仏と唱えつつ、太鼓や鉦の音色に合わせて、時計回りに次々と大数珠を回し、無病息災や家内安全、五穀豊穡を願いました。



2本同時公開! 市内高校生と中央図書館が「図書館PR動画」を制作

「図書館PR動画」が完成



この度、中央図書館のさまざまなサービスを伝え、利用促進を図ることを目的とした「図書館PR動画」が2本、完成しました。

1本目は茨城県立牛久栄進高等学校の映像研究部が制作しました。制作にあたり、生徒たちは館内を見学し、職員にインタビューを行い、生徒目線での映像に仕上げました。



2本目は「教えて!! ラーシク 牛久の図書館って どんどころ??」と題した動画で、中央図書館と市広報政策課が共同で制作しました。公式キャラクターのラーシクがパペットで登場し、子どもから大人まで楽しめる内容になっています。

それぞれ、違った視点で図書館を紹介しています。両動画とも市公式YouTubeで配信しています。ぜひ、ご覧ください。

1 茨城県立牛久栄進高等学校が制作した動画

2 中央図書館と市広報政策課が共同制作した動画